

	精算金額	控 除 額					差 引 額	
		概 算 金	乾 燥 料	粗 す り 料	細 代 包 装 并 付 料	計		
水 粳 粳	2,320円	480	30	42	9	24	585	1,735
陸 粳 粳	2,320円	480	30	42	9	24	585	1,735
水 糯 粳	2,590円	480	30	42	9	24	585	2,005
陸 糯 粳	2,590円	480	30	42	9	24	585	2,005

勤・儉・讓

社会教育委員長 篠原 亮

終戦当時のことは、ほんの此の前のことのように、生々しい記憶として思い起こされますが、あれから満十年の年月が過ぎ去り、この昭和三十一年という新年を迎えました。

これから更に今後十年の最初の年をふみ出すにあたり、過去十年の反省をたぐひ、私はかの二宮尊徳先生の教訓を、こゝにつく味はうのであります。

二宮尊徳先生と云へば、戦前の教育を受けた人なら知らない人は居ないであらうが、只今でもその先生の少年時代の姿をたどつた像が、田代小学校の職員室の前に、戦前と何ら変わることもなく立っております。

二宮先生は背を背負ひ、手には本を持つて居られるあの姿の通り、懸命なる勉学によつて、非常に立派な人になられたわけでありまして、その教訓は、自ら書かれたものが沢山の山有るわけでありまして、先生に直接訓育された福住兄弟二人が、先生の訓話であります。

「愚痴に勤めよ、助めよ」と云う代りに「もつと業をせよ、苦勞をせよ」と云ひ、「儉約せよ、辛勞をせよ」と云ひ、「もつと文化生活をせよ、何を食へ、何を穿て、何を金と云ふはしないか。」

又「他に譲れ、貯えて来年にもちこせ」と云ふは「後は何と云ふ。ない時は人に借れ。いや、自分ももつと人から取れる権利がある。米よこせ、金よこせ」と云ひはしないか。

今月の給料で今月の生活をするのはまづ良いとして、来月の給料は、また多く稼いで金を多く使ひ、多く薪を取つて焚くことと云ふ。米は多く食ひ、金も使ひ、焚くことが出来なせよと云ふ。米は多く食ひ、金も使ひ、焚くことが出来なせよと云ふ。

農村人の誇をもとめ

農村人 (三)

終戦後うすつたような農村の動揺の中にあつて、農村復興への希望をすて、枯草の下に芽生えた若芽のように、すくすくと育つて来た、青年や壮年の周囲には、今や数多くの同志が、グループと云ふ名において、結合してゐる。

こゝに結合したグループには、真にたいへんがこつて居り、同志間の血が通つて居るから、行動が一致し、活動の成果も著実にあつて行くのである。

これらのグループがやがては郷土復興への大きな役割を果す、黒潮をたつて波打つて来ようことは先月号に述べたので、今月は少し趣向をかえて、論点を具体的なものに据へて見た。

新聞でも報じられたので、お気づきの方もあつたかと思うが、去年十二月三十一日の二日間に亘つて、串良町田代の県立経営農場で、郡下の若き女性の合宿研修会がもたれたのである。

松沢農場の厚意で私達は農場に、一夜のまどろみを得ることが出来た。其の節松沢農場と某町の社

「愚痴に勤めよ、助めよ」と云う代りに「もつと業をせよ、苦勞をせよ」と云ひ、「儉約せよ、辛勞をせよ」と云ひ、「もつと文化生活をせよ、何を食へ、何を穿て、何を金と云ふはしないか。」

又「他に譲れ、貯えて来年にもちこせ」と云ふは「後は何と云ふ。ない時は人に借れ。いや、自分ももつと人から取れる権利がある。米よこせ、金よこせ」と云ひはしないか。

今月の給料で今月の生活をするのはまづ良いとして、来月の給料は、また多く稼いで金を多く使ひ、多く薪を取つて焚くことと云ふ。米は多く食ひ、金も使ひ、焚くことが出来なせよと云ふ。米は多く食ひ、金も使ひ、焚くことが出来なせよと云ふ。

木佐貫ときさん 湯ノ谷秀吉氏に 哀悼の意を捧ぐ

田代村婦人会の親友、元婦人会長木佐貫ときさんは、昨年の十一月四日御逝去され、田代村婦人会の総元締とも云へべき経済部長湯ノ谷秀吉氏と同じく、昨年の十二月二日御逝去になりましたが、御二人は共に我が郷土のために赤誠を傾け、細かなる事業を残された方として、哀惜の情つきないものであります。

ここに哀悼の意を捧げ、御冥福を祈りますと共に今後一段の発展を期したいものと念願するものであります。

田代公民館 謹白

いざと云う時の備えをせねばならぬ。米を貯蓄する前に苦勞をせねばならぬ。米を貯蓄する前に苦勞をせねばならぬ。米を貯蓄する前に苦勞をせねばならぬ。

二宮先生の教訓を実行に行つてみようと思ひます。

そして言うは易く行ふは難しと云ふ事でも、実践と云ふ事は一寸の事でも難いものであります。果して自分に実践出来るか否かを試してみたいと思ひます。

そしてまた、立派な人の教訓を自ら実践してみ、その結果本當の立派な改革が出来たら、それが他にならざるを得ないと思ひます。

そうすれば、他に譲る余裕も出て来るであらう。

一年の計は元旦と云ふことか。新年を迎えての一念願として、それは然しなくもつつかい、二宮尊徳先生の教訓を、こゝにつく味はうのであります。

年頭の御挨拶と致します。

昭和三十一年度の成績並びに 納税準備貯金の成績並びに

納税準備貯金の成績並びに、以上であり、その他の部は、例年振興大会の貯蓄の一部として成績を挙げましたが、本年度から納税の一部として成績を挙げることが出来た。勿論納税準備金の増進に努めたことと云ふべきであらう。

納税準備金の増進に努めたことと云ふべきであらう。

納税準備金の増進に努めたことと云ふべきであらう。

明い養蚕業

昭和三十一年の新春を迎えるに當り、養蚕の生産の合理化を第一の目標として、輸出の増進に努める。昭和三十一年の輸出は、例年と比べて、輸出の増進に努める。昭和三十一年の輸出は、例年と比べて、輸出の増進に努める。

昭和三十一年の輸出は、例年と比べて、輸出の増進に努める。昭和三十一年の輸出は、例年と比べて、輸出の増進に努める。

昭和三十一年の輸出は、例年と比べて、輸出の増進に努める。昭和三十一年の輸出は、例年と比べて、輸出の増進に努める。

海外ヒック

河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。

河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。

河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。河野農林大臣と河野の海産物。

明けまして おめでとう

田代村農業協同組合 組合長 平川正明 外務員 川崎順一

田代村農業共済組合 組合長 小牧昌男 外務員 一

食糧事務所田代出張所 所長 山南繁彦 外務員 一

田代たばこ耕作組合 組合長 上田政吉 外務員 一

田代村森林組合 組合長 柴立芳文 外務員 一

田代村消防団 団長 鶴岡末吉 外務員 一

田代村連合青年団 団長 上久保三郎 外務員 一

田代村婦人会連絡協議会 会長 湯之谷トヨメ 外務員 一

田代村PTA連絡協議会 会長 荒由秋由 外務員 一

納税準備貯金成績表				
昭和30年11月末日現在 (単位円)				
区分	昭和30年度目標	同実績	達成率%	昭和31年度目標
下	199,000	24,000	12.07	166,000
馬場	138,000	18,500	14.63	139,000
東ノ	85,000	4,800	6.65	74,000
長ノ	145,000	44,800	40.00	119,000
西ノ	300,000	20,400	6.90	221,000
中ノ	295,000	27,900	9.46	257,000
橋ノ	453,000	63,600	24.00	299,000
中山	133,000	14,100	10.70	119,000
岩表	217,000	45,900	21.10	182,000
折山	224,000	42,400	18.90	199,000
西原	254,000	78,700	30.90	244,000
東中	83,000	17,000	20.40	81,000
新内	138,000	6,000	4.44	138,000
官久	202,000	36,400	18.00	179,000
盤富	111,000	7,800	7.02	101,000
平栗	82,000	8,800	10.70	81,000
上原	124,000	45,588	36.70	134,000
池瀬	73,000	16,000	21.90	72,000
瀬野	69,000	6,500	9.42	61,000
口倉	61,000	22,900	37.50	52,000
瀬原	45,000	3,100	6.88	50,000
郷田	29,000	16,400	5.65	48,000
立川	8,000	8,540	106.70	14,000
原野	283,000	17,000	6.00	142,000
立川	336,000	35,200	10.40	327,000
立川	190,000	14,100	7.42	184,000
立川	298,000	41,900	14.50	261,000
立川	76,000	13,400	17.60	83,000
立川	222,000	36,500	16.40	229,000
立川	81,000	15,500	19.10	91,000
立川	226,000	131,300	58.00	215,000
立川	91,000	36,000	39.50	91,000
立川	173,000	26,300	15.20	185,000
立川	171,000	29,400	17.10	157,000
立川	168,000	23,000	13.60	163,000
立川	347,000	43,600	12.50	378,000
計	6,120,000	1,043,628	17.05	5,547,000

校長 名ヶ迫 黄

今年の養蠶業の達成目標

定期結核検診に付いて

海
八

も、あなちが言い過ぎではないと思ふ。今後青森の広報活動に對する絶大なる御協力を賜はらんとすを期望して止まないのです。

◆如斯重要な広報活動の一環にならう田代時報を、今年こそ皆様の力強い御支援によつて、もつと内容豊かなものにし、村民に親まれる広報紙、村政に役立つ広報紙として、育てて行きたいものと念願して止まません

◆二十二号台風の乱舞による、前古未曽有の大災害の中から、私達村民は復興の鐘の音も高らかに、再建街市を籌策して来ま

各部落のグループは之又如何に取り組んで行か、苦しい中にも大なる覆返に輝く新春を迎えた道行、村人の表情は、明るく睦い。

◆昨年度は原子力問題、軍事基地問題、國連加盟問題等々國際的に波乱を呼んだ年でした。今年度は地方制度改革、教育制度改変、根本的には憲法改正問題等をめぐつて、保守革新の二大陣營の対立は激化し、国内政局に風雲をほらむ兆があります

本年こそ國家統治の主権を持つ我々國民は、活眼を見開き方向を誤ることなきよう、政局を見

地誌
寺田寅彦、福
赤らんの内蔵、自動車支那の鬼
竜之介作見
三六卷

飛、現代の文学、この
 配役表、堀尾雄喜楽の園
 生生活日記、小林秀雄全
 集、昭和文学全集四三
 の巻、夜嵐集一、ナナ
 ユ、緑の地帯、ドロ
 大舞、腐爛人草、沱江里想
 現代、作て表選集二一、徳川
 再代、作て作品集三、結晶二
 巻、東京の人、ある老科学者
 せがれの対話、冬眠先生慌て
 光を喰ふもの、世界文学全集
 オランダ戦の秘蔵、ルイ、プラ
 ン

和二十六年六月一日附で、公

宛託の御挨拶申し上げる勇氣
 が立たないのであります。
 かつた年を迎えて、私にも
 覺悟が湧いて参りました。目
 下二十職を奉じた上からは、
 燈が出来ました。
 大要おそくなつて申訳ありませ
 んでしたが、此處に本紙上をお借
 りにあたつて社会教育主
 小川兵一

度は先に本紙を通じて、教育
告示されましたように、私

政治の部落組織への浸透に、縦の連絡に、ひるがえつて民主政治の根幹となる身論を多くに、広報活動の占め割合は小さくない、今後村づくりが、風潮につた帆船の如く滑らかに進むか否かは、広報に、再建街道を驚異して来てもつと内容豊かなものにし、村民に頼まれる広報紙、村政に役立つ広報紙として、育てて行きたいものと念願して止みません

二十二号台風の乱舞による、前古未曽有の大災害の中から、私達村民は復興の鐘の音も聞かずに、再建街道を驚異して来

今年度は地方制度改革、教育制度改変、根本的には憲法改正問題等をめぐつて、保守革新の二大陣営の対立は激化し、国内政局に風雲をばらむ兆があります本年こそ国家統治の主権を持つ我々国民は、活眼を見開き方向を誤ることなきよう、政局を見